



### 第102号

2016.4.14 発行  
(平成28年)

ユパリコザクラの会  
事務局

〒068-0412

夕張市鹿の谷東丘町 3

水尾君尾方

TEL/FAX 0123-52-3306

携 帯 090-8632-8928

E-mail

kozakura@m8.dion.ne.jp

ホームページ

http://yuparikozakura.org/

ようこそ花の夕張岳へ

の海域の多様性に富んだ多くの生物を護ることを意味しているのだと思えました。

3月2日は岩見沢で空知信金の「ふるさと大賞」授賞式に出席して思ったのですが、どの受賞者も長い期間継続して活動をしているということです。「継続は力なり」とよく言われますが、正にその通りで、目的のために人をまとめて長いこと活動することは大変なことです。行きつく先は一つでもそこに

今回の日本自然保護大賞は他にもいろいろな団  
平成二八年度に向けて  
代表 藤井 純一

代表 藤井 純一

体が受賞されましたが、中でも特に感銘を受けたのは沖繩のジュゴンを守る会でした。もう数頭しかいないジュゴンは、今一番問題を抱えている辺野古の埋め立て海域に住んでいるのです。懇親会で私がシマフクロウの繁殖の件で500羽以下になるともう自然界の繁殖は非常に困難になると話しましたら、海はつながっているのですよと熱く言われました。南の海域に住んでいるジュゴンと遺伝子は同じだそうです。ジュゴンそのものを護ることもさることながら、こ

にたどり着く道はたくさんあります。人が百人いれば百通りの考えがあります。私たちの会も幾度か危機があり、主要な団体が離れていったこともありま。あれで会が終わっていたら、このような荣誉な賞をいただくことはなかったと思います。何より山の自然がどのようなようになったか。様々な困難を乗り越えて、継続して来たことが夕張岳の花・土壌の保全に寄与したと自負しています。



古い時代に夕張岳に登った人はまだまだあの時の花の多さ、自然の豊かさを感じられないだろうと思います。四半世紀もやっているのに一度弱った自然を回復するのは気の遠くなる歳月がかかることをあらためて思います。会の高齢化はこの団体でも同じで、コザクラの会に限ったことではありません。自然保護に結びつく企画は基本的には現状維持とし、アイデアは常に考えなければなりません。会の力を考え「少しだけ背伸びすれば・努力すれば」と負荷をかけて、できることを実行していきたい。かつて「夕張岳が夕張にあることが不幸だ」と言われましたが、「夕張岳が夕張にあることが幸せである」と胸を張って言えるように、行政とともに頑張っていかなければなりません。

以前にも書きました。いろいろな「困難・迷い・挫折」があったときは、「夕張岳を保護する」という原点に立てば道は開けると思っています。夕張岳の保護保全の先頭に立っている我が会の活動に誇りを持ち、決して驕ることなく、夕張岳を支援してください。全国の皆様にも感謝して、また今年も夕張岳を全国に発信していきましよう。

高山植物群落と蛇紋岩メランジュ帯の

## 夕張岳は 20周年を迎えました

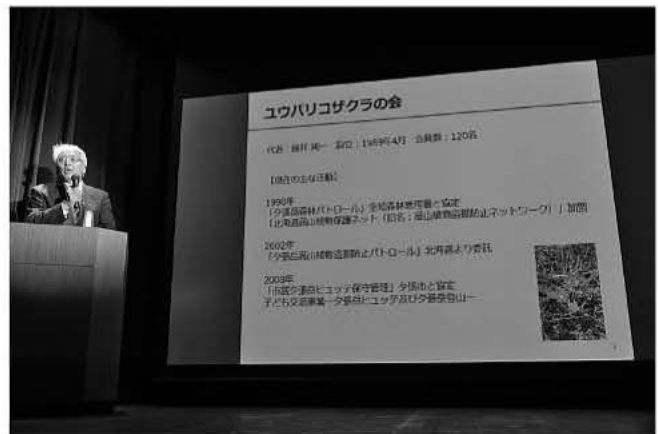
国の天然記念物に指定(平成八年六月)されて

# 平成28年2月7日 日比谷コンベンションホールにおいて 平成27年度 日本自然保護大賞 沼田眞賞を受賞しました。

「夕張岳の大自然及び文化遺産を次世代に引き継ぐための保全活動」において日本の自然保護と生物多様性保全に貢献し他の模範となる成果をあげられました。よってその功績をたたえ、平成27年度日本自然保護大賞を贈呈し表彰します。

## 沼田眞賞 選考講評 日本自然保護協会 理事長 亀山 章

沼田眞賞の選考は、最終審査の対象とされたすべての活動について、沼田眞賞の精神である「自然保護および自然保護教育の規範となる実践活動、及び先駆的・独創的な考えを示した研究や著作、科学的裏付けとなる重要な調査研究」を念頭に審査しました。受賞されたユウバリコザクラの会は、北海道夕張岳のスキー場計画を阻止し、夕張岳の高山植物群落を国の天然記念物に指定することをめざして発足した会です。それらの目的を達成した後、北海道高山植物盗掘防止ネットワークを設立してその中核団体となり、北海道希少野生動物植物保護条例の制定にも貢献するなど、その姿勢と活動の成果は、沼田眞賞にふさわしいものと高く評価されました。



授賞式にて



鈴木市長に受賞報告

## 沼田眞賞とは

自然保護に尽力された沼田眞博士の志を未来に伝えていくにふさわしい活動に、特別賞として「沼田眞賞」を授与します。沼田眞博士は、生態学者として自然保護の重要性を科学的に説き、日本自然保護協会の会長として自然を守ることの大切さを訴え、日本の自然保護を国際的な水準に高めました。

尚この賞の第1回(平成13年)で、当会発足に関わった小野有五氏(北大教授・当時)が受賞、第7回(平成19年)には、今も活動を共にしていただく佐藤謙氏(北海学園大教授、道自然保護協会会長・当時)が受賞されています。

平成28年3月2日 岩見沢市 平安閣において  
平成27年度 空知しんきん産業文化振興基金  
「ふるさとづくり大賞」を受賞しました。

## 夕張岳の自然を守り、文化遺産を次世代に 引き継ぐための環境保全活動

夕張岳蛇紋岩メランジュ帯の天然記念物指定に尽力し、北海道の高山植物盗掘防止ネットワークの設立活動など高山植物保護活動の草分け的団体です。  
近年は、全国に募金を呼びかけ労務提供により老朽化した夕張岳ヒュッテを3年かけて再建する等活発な活動を続けており、機関紙「コザクラだより」は第100号に達し、夕張岳登山情報を全国に発信しています。また、ヒュッテ周辺で子ども交流事業を実施して文化遺産を次世代に引き継ぐ、育成のための活動も実施しています。



授賞式にて



賞状盾



産業技術賞・文化賞受賞のみなさんと



雪のブロックが降ろされ、それをママさんダンブで川へ！汗だくになりながらも何故かしら不思議と満たされている。新しいトタン屋根くひさしの部分に圧雪された雪をトタン板のつなぎ目に傷つけぬよう注意しました。ヒュツテと炊事棟の間の通路には冬囲いの丸太が折れる程落雪が積もってました。2年前に登ったトイレの屋根へは今回は男性陣がかたずけて下さったので中での仕事をと玄関先の薪を部屋に積み上げた際のハプニング。いちばん下段奥の薪を中腰で手前に引きだそうとした時に何やら黒っぽい固まりがあり、目が悪いので表面をなぞっても解りません。ドブネズミの冷凍がこびり付いていたと判明して周りの皆に笑われました。帰り際には皆で埋葬してお別れしました。厳冬期に山深いヒュツテへ足を運べるチャンスを生かせ嬉しく思いました。

会員 大嶋 悠子

2月20、21日  
汗だくの雪下し作業と  
ハプニングのおまけ

心配されてた週末の天気予報が意外な程、両日共に快晴でしたが、当初の参加予定より大幅に欠け何と5名！藤井代表お墨付き凄腕のーさん、いつも穏やかな事務局長の御主人、南極で代表と貴重な体験を共にしたF本女史、そして国道沿い駐車場より長い長い林道を少しでもスノーモービルで引張って貰えるのを唯一楽しみに参加の大嶋。代表とーさんは前日から買い出しや荷揚げとヒュツテ入りして林道へ最終ゲート迄の状況をパトロール済。お陰様で2台のスノーモービルと名運転者に感謝です。ロープをしっかりと掴まれているつもりが雪面の凹凸に脚が耐えきれず転んでしまう有り様でした。例年より積雪量の少なさには助かりました。旧ヒュツテを思うと小屋に辿り着く迄や埋まってる玄関先の掘り起こしからスタート。屋根に登っている男性陣から大きな



会員 五十嵐 康成



当日、国道脇の駐車場に集合し、前に付けた雪道をトラブルもなく、屋前にはヒュツテに到着。例年1月下旬に実施していたのが、この時期となつたので、どれだけ雪が積もっているのか心配していたが、積雪量は例年よりも少なく、また、参加者も5名と少なかつたので適度な作業量となりました。ヒュツテと炊事棟の間には、例年通りヒュツテの軒下まで雪が積もり、ヒュツテ側には落ちきららない雪が屋根に2分の1くらい残っています。炊事棟は屋根が高いので軒下までは達しておらず、屋根には20cmぐらいの積雪。トイレ棟は1mぐらいのキノコの笠ができて、軒先が雪の重みで少し変形した状態。炊事棟側の雪囲いのたる木が3本ぐらい折れていましたが、何とかトイレへの道は確保されました。来年は要検討だ。

冬場の食器洗い

会員 五十嵐 康成

春山パトロール時の夕食時に今年初の「フキノトウの天婦羅」を食べました。あの爽やかな苦みがとてもおいしかった。冬期ヒュツテ滞在での使用後の食器は汚れを落とし、ティッシュペーパー等できれいに拭き取ったつもりで再使用していますが、さすがに二泊、三泊目となると底に付いた油汚れが気になるのは私だけでしょうか。最近では、ストーブの上でお湯の沸いた大鍋に入れ「煮沸消毒」しながら使用して、時折外の水場で洗剤を使用して洗ってもいます。





2016年3月19日から2泊3日で、恒例行事の「春山パトロール」に行つてきました。総勢6名が国道452号線の夕張岳登山口に入る林道入り口に集合し、水尾事務局長に見送られ出発。天気は生憎の雨模様だ。まだ雪の方がいいかもしれない。白金橋から産業廃棄物施設までは除雪されておりスノーモービルの出発地点も産廃施設からとなる。例年より雪はかなり少なく、沢も大きく口を開けている。前の晩から藤井代表を含む2名が用意周到に事前準備で宿泊していて、初日はヒュッテまで移動するだけだ。心配していた林道の雪も今日の暖気と雨で、ザラメ状となりスキーが上手くない自分にとつては好都合だ。軽快に引つ張られて駐車場まで無事到着する。支障木は数本あったが、あまり大きな木は無かったので雪解けまでは整理できるだろう。午前中に到着してしまったので、小屋のテラスの雪かきをしたり、早い時間から宴の練習に講じたりして時間を潰す。それでも16時には夕食となり長い夜が始まる。翌日は6時に起床

5名で冷水  
 3人がス  
 ノーシュー  
 ティに分かれ  
 岐までを目標

—————

春山パトロール

—————

会員 菊地 宏治

—————

て馬の背コース分  
 に目指す。誰が付  
 だ。程なく3パー  
 キーで2名がス  
 コースを出発す  
 して7時30分前

ここに尾根伝いにもう少し標高を上げれば分岐に着くだろう。私たち2名の山スキー隊は標高をあまり上げないでトラバース気味に進み、滝ノ沢岳の右にある標高1297m峰を目標に進む。前岳が近くなるにつれ標高も上がり1300m近くになった時に前岳と滝ノ沢岳の吊り尾根のゴルに到着する。前岳が雪の中に鋭く突き上げている。上空の雲は高速で流れていて1487m峰の上は霞んでいて見えない。おそらく釣鐘岩近辺より上空はかなりの強風だろうと予測して、ここをゴールとして引き返すことにした。小雪が舞う中、時折日差しもありモノトーンの景色が一瞬広がる。スキー技術の未熟な自分は、途中でガリガリの急斜面はスキーを脱いで降りました。



# 夕張岳自然ガイドマップができました

このたび、(公財)北海道新聞野生生物基金の助成をいただき、「夕張岳自然ガイドマップ」を作成しました。作成には、阿部(博)、小川、杉浦、水尾(君)が主体となって2か月に1回ほど編集会議を開き、様々な議論をしながら作成を進めました。昆虫の項目は夕張自然科学研究会の福本昭男さんが執筆し、花の写真は阿部(博)が提供、佐藤 謙先生(北海学園大教授)に校正していただきました。詳細は、北海道ネイチャーマガジン「モーリー」に掲載予定ですのでそちらもご覧ください。

自然ガイドマップを手にとって登山される方々に、夕張岳の豊かな自然を知るきっかけを提供できれば幸いです。

夕張岳  
国の天然記念物指定  
20周年記念事業

市民講演会

「アポイ岳

ユネスコ世界遺産  
ジオパーク認定」まで

入場  
無料

夕張岳の高山植物群落及び蛇紋岩メランジュ帯が国の天然記念物に指定（1996<平成 8>年 6月）されて今年で 20 周年となりました。

夕張岳の素晴らしさをより市民の皆様を知っていただくため、姉妹交流をかさねているアポイ岳ファンクラブの水野洋一氏をお招きし、世界ジオパーク認定で町民が一体となる様似町の活動を夕張で語っていただきます。

皆様多数のご来場をお待ちいたします。

講師：水野洋一氏  
（アポイ岳ファンクラブ会員  
ジオパーク認定ガイド）

日時：平成 28 年 5 月 14 日（土）  
13 時 30 分～ 15 時

会場：夕張市民研修センター（清水沢宮前町）

様似町役場発行パンフレットのの一部



会のうごき

2016年

1月

25日 会報「コサクラだより」101号発行

2月

7日 平成 27 年度日本自然保護大賞 沼田眞賞  
授賞式典出席 代表及び事務局長

10日 夕張市教育委員会訪問

沼田眞賞受賞のお礼 南極学習会について

16日 夕張小学校訪問 南極授業の説明 2名

18日 鈴木市長、小林教育長訪問

沼田眞賞受賞報告 代表他 3名

18日 空知森林管理署と森林バトロール協定更新

20～21日 夕張岳ヒュッテ雪下し作業 5名

27日 ユネスコ世界ジオパーク認定記念

アポイ岳フォーラム 傍聴 3名

28日 ガイドマップ編集会議 3名

事務局打合せ 3名

3月

2日 平成 27 年度「ふるさとづくり大賞」  
授賞式典出席 代表他 2名

15日 夕張市まちづくり課訪問

新年度の登山計画について

幸福の黄色いハンカチ基金申請

16日 空知森林管理署来訪(2名)

新年度の計画について協議

19～21日 夕張岳春山バトロール、

スノーモービル痕調査 6名

26日 役員会 7名

31日 ガイドマップ製作作成

## 今後の活動予定

### 2016(平成28)年度 総会

会が発足して28回目の総会。名誉ある日本自然保護大賞の「沼田眞賞」を受けた記念の総会でもあります。会員多数の出席を期待します。

**日 時** 平成28年5月14日(土)  
10時～12時

**会 場** 夕張市民研修センター  
(清水沢宮前町)

### 第8回 旧産炭地域 子ども交流事業参加者募集! 記憶に残そうふるさとの山

夕張岳の懷に抱かれて思いっきり自然との深い絆の尊さを学びましょう

**日 時** 7月23日(土)13時  
～24日(日)15時

**会 場** 夕張岳ヒュッテ周辺及び夕張岳

**参 加 対 象** 子ども・小中高生  
(小学生以下は保護者同伴)

**内 容** ヒュッテ周辺で自然と遊ぶ体験学習  
夕張岳登山

**参加費** 無 料  
(但し成人のみの参加は2千円)

**募集期間** 7月8日(金)まで

参加希望の方は事前に事務局へお申込みください。

### 会費の継続納入・ご寄付 ありがとうございます

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパリオザクラの会へ入会又はご寄付をよろしくお願いいたします。

年会費 2,000円 家族会費 3,000円  
名 義：ユウパリオザクラの会  
ゆうちょ口座：02780-9-43747

### 山の日(祝日)制定記念 登山研修会

**入場無料**

**日 時**:6月11日(土) 13時30分～15時

**会 場**:夕張市民研修センター(清水沢宮前町)

**講 師**:長谷川雄助(元日本山岳会北海道支部長)

終了後希望者はヒュッテへ移動宿泊します。  
ヒュッテ移動希望者は事前に事務局へ申し込みください。

### 第1回森林パトロール



登山シーズンを迎え、登山道の補修・整備・清掃、コースロープ設置などを行います。人手を要しますのでボランティアご協力をお願いします。

**日 時**:6月12日(日) 冷水コース口

(予定)午前6時集合・出発

参加希望者は事務局へお申し込みください。

### ヒュッテ開きと ヒュッテ見学会のご案内

登山シーズンとなり林道も解放されて宿泊登山者も訪れます。登山とヒュッテ作業の安全祈願とヒュッテの見学会を催しますのでご参加ください。

**日 時**:6月18日(土) 14時

開設セレモニー 安全祈願

参加希望者は事務局へお申込みください。

### 第1回 高山植物パトロール

**日 時**: 6月19日(日)

**出 発**: 午前6時 ヒュッテ前出発

参加希望者は事務局へお申込みください。

**引き継ぎ**

### 夕張岳ヒュッテ 炊事棟建設にご支援を!!

平成27年4月～平成28年3月31日現在  
182口 556,755円 ありがとうございます。

新炊事棟のトタン屋根は素人のボランティアでは手に負えないので業者へ発注しましたが、この100万円余が不足しています。今一度のご支援をお願いいたします。

名 義：夕張岳ヒュッテ管理運営委員会  
ゆうちょ口座：02750-6-97634